

Ⅲ 外国籍等の子どもへの日本語サポート体制の充実

1 日本語サポート指導

(1) 事業概要

ア 目的

外国等から編（転）入した幼稚園児・児童・生徒を対象に、日本語の指導及び日本の学校生活への円滑な適応を支援しています。

イ 内容

(ア) 日本語初期指導

外国等から編（転）入した幼稚園児・児童・生徒に対し、母語を使って日本語を指導することのできる指導員（以下「日本語サポート指導員」という）を配置し、日本語の初期指導を行います。

① 集中指導

- ・教育センターに日本語サポート指導員を配置し、児童・生徒が通所して日本語指導を実施します。

② 個別指導

- ・集中指導終了後、各学校に日本語サポート指導員を配置し、引き続き個別の日本語指導を実施します。
- ・集中指導を希望しない児童・生徒は、学校における個別指導から実施することも可能です。
- ・幼稚園児においては集中指導を行わず、各幼稚園において個別の日本語指導を実施します。

(イ) 通訳

保護者会、個人面談等において日本語の理解が困難な保護者への通訳を行います。

(2) 基礎データ

日本語サポート指導対象及び時数

ア 日本語初期指導

(ア) 集中指導

- ・外国等から編（転）入した日本語の初期指導が必要な児童・生徒を対象とします。
- ・指導時間は、1日3時間（9時～12時）を基本とします。
- ・対象児童・生徒1人あたりの指導日数は10日（30時間）程度です。
- ・児童・生徒の日本語達成状況により、2日間（6時間）程度延長指導をすることができます。
- ・小学生については、保護者等が送迎を行うものとします。

(イ) 個別指導

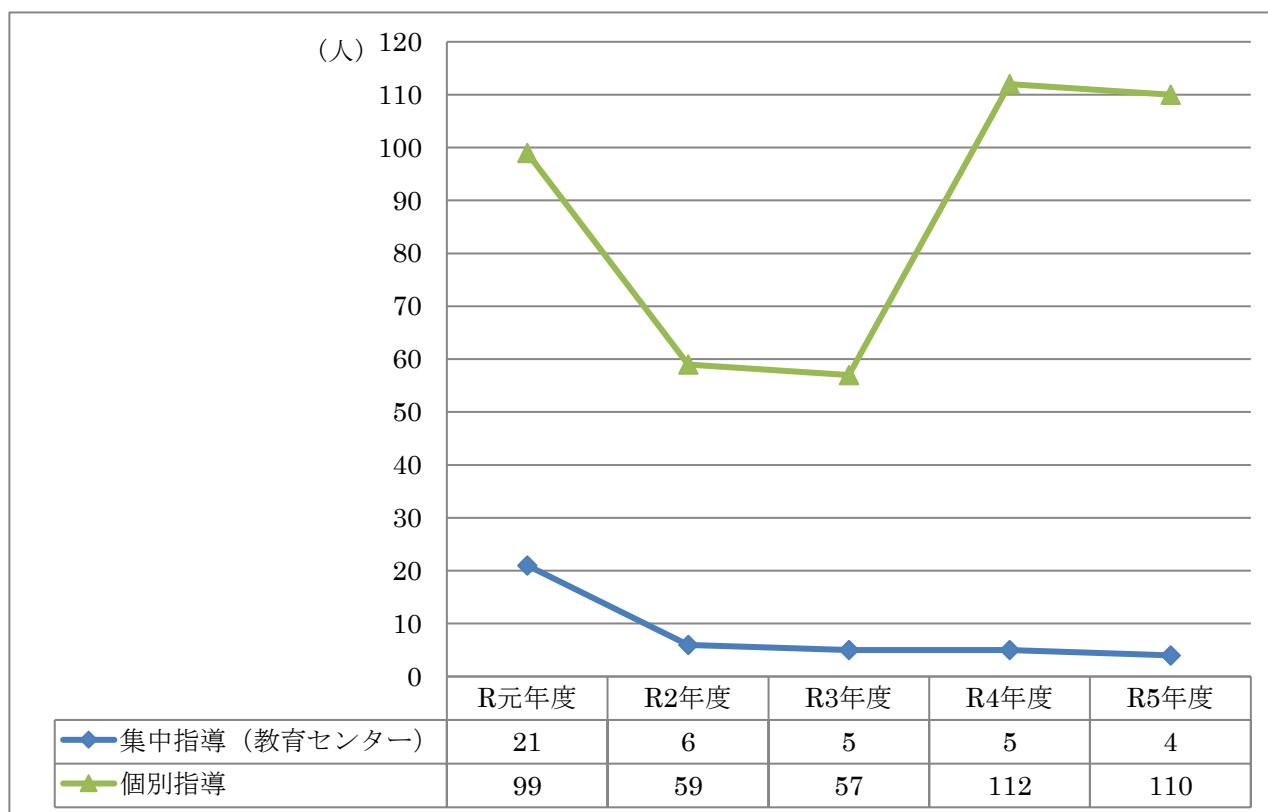
- ・外国等から編（転）入した日本語の初期指導が必要な幼稚園児・児童・生徒を対象とします。
- ・対象幼稚園児・児童・生徒 1 人あたり、日本語サポート指導員 1 人を週 2～5 日程度配置します。
- ・指導時間は 1 日 2～4 時間を基本とします。
- ・対象幼稚園児・児童・生徒 1 人あたりの指導時間は下記のとおりです。
 - ① 幼稚園児 50 時間
 - ② 小学校 1・2 年生 50 時間
 - ③ 小学校 3～6 年生 70 時間
 - ④ 中学生 70 時間

イ 通訳

保護者会、個人面談等において日本語の理解が困難な保護者に対する通訳を行います。
 なお、通訳は 1 回 2 時間を基本とし、状況により 30 分単位で延長することができます。

(3) 実績等の増減

ア 日本語初期指導実績の推移

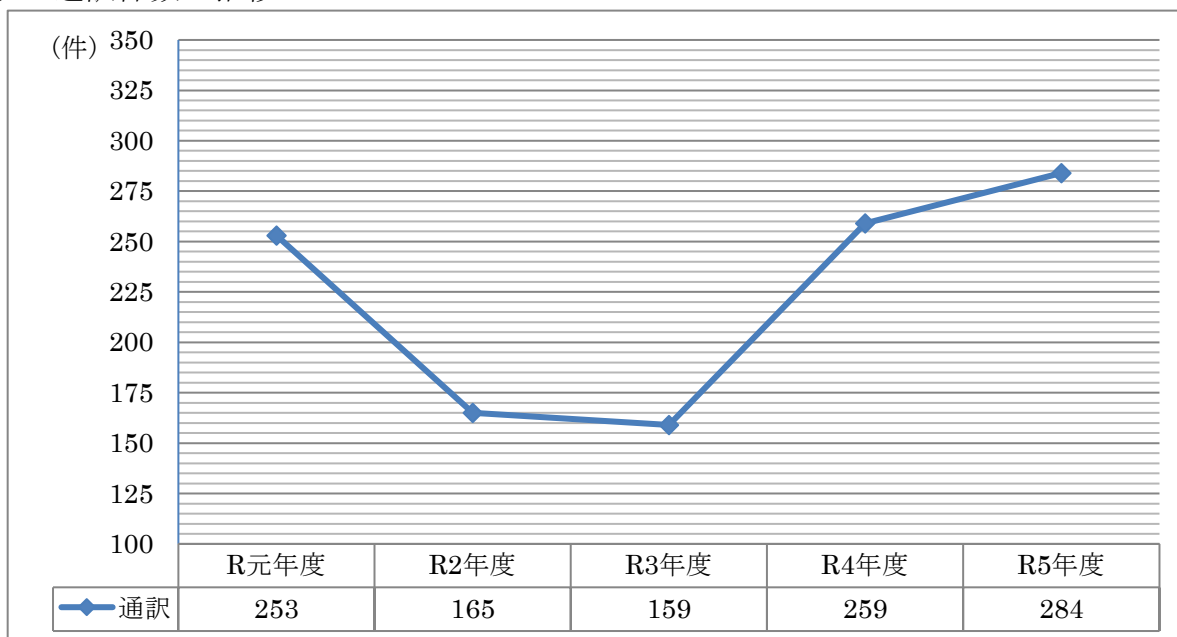


イ 日本語初期指導実績（言語別内訳）

（人）

言語	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
韓国語	22	14	15	16	13
中国語	51	17	15	38	55
タイ語	4	1	1	1	0
タガログ語	2	2	0	3	0
英語	7	7	8	20	17
ネパール語	3	15	7	18	13
ポルトガル語	0	0	1	0	0
スペイン語	0	1	1	1	1
ヒンディー語	0	1	1	1	0
ロシア語	1	0	0	4	0
ミャンマー語	4	0	4	1	2
ペルシャ語	0	0	0	0	1
モンゴル語	0	0	2	0	0
ベトナム語	3	0	2	1	4
フランス語	0	0	0	5	0
ウルドゥー語	0	0	0	0	1
日本語	2	0	0	0	0
ベンガル語	0	1	0	2	3
シンハラ語	0	0	0	1	0
計	99	59	57	112	110

ウ 通訳件数の推移



(4) コストデータ

項目		単位	R3年度	R4年度	R5年度	
総計		千円	49,890	64,144	71,960	
			事業費(A)	41,408	55,729	63,527
			人件費等(B)	8,482	8,415	8,433
			減価償却費	0	0	0
一般財源		千円	49,890	64,144	71,960	
特定財源			0	0	0	
一般財源投入率		%	100.0	100.0	100.0	
職員数	常勤職員	人	0.85	0.85	0.85	
	非常勤職員		0	0	0	